

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●**公共機関**

- ・区役所 中原区役所5Fなかはらっば
- ・会館 川崎市国際交流センター
- ・会館 川崎市生涯学習プラザ
- ・会館 かわさき市民活動センター
- ・郵便局 川崎井田郵便局
- ・郵便局 川崎ブルーメン通郵便局
- ・郵便局 川崎木月郵便局
- ・郵便局 川崎木月大町郵便局
- ・放送局 かわさきFM
- ・推進協議会 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

●**元住吉西口(ブルーメン通り/井田中ノ町商店街通り)**

- ・コミュニティセンター 元住吉コミュニティセンター
- ・音楽教室 SouleaveMusic School
- ・鉄板焼 ゆうき亭
- ・ヘアサロン キャメルヘアデザイン
- ・カフェ 水谷珈琲
- ・音楽教室 ファミリーミュージック Studio
- ・果物 フルッコ
- ・楽器店 スミノ楽器店ショールーム
- ・ドラム教室 ムールドラムス
- ・コピー専門 MUI
- ・イタリア料理 オステリアポッカーノ
- ・音楽教室 鳥倉 学ミュージックスクール
- ・音楽教室 有隣堂日吉センター
- ・コインランドリー マンマチャオ元住吉店
- ・理容室 Hair Salon Airs
- ・接骨院 井田名倉堂・栗山接骨院
- ・ヘアサロン 波照間
- ・カフェ フォレストコーヒー
- ・時計・貴金属 つだとけいてん
- ・不動産 福街不動産

●**元住吉東口(オズ商店街通り)**

- ・介護センター みずたま介護ステーション元住吉
- ・鍼灸院 和式整体&整心の「響氣」
- ・介護センター ツクイ
- ・古本・CD 凸と凹
- ・動物病院 シリウス犬猫病院
- ・調剤薬局 網島街道薬局
- ・イタリア料理 自在屋
- ・STEAK スターキータム元住吉店
- ・音楽教室 PCK Music Studio (佳宏美ヴォーカル教室)
- ・ライブハウス パワーズ2
- ・音楽教室 Studio An (スタジオ・アン)

●**武蔵小杉近郊**

- ・紅茶専門店・喫茶室 Tea House ローズマリー
- ・蕎麦店 そば あさひや
- ・珈琲店 Cafe TEMO (テモ)
- ・喫茶店 Coffee Spot Life (ライブ)
- ・喫茶店 ピアノ&ギャラリ 喫茶ループ

●**元住吉近郊・他**

- ・喫茶室 シンフォニー
- ・調剤薬局 駒沢通り薬局
- ・写真 PHOTO SHOP 銀嶺
- ・レストラン&バー Public House びあにしも
- ・調剤薬局 オレンジ薬局川和町店
- ・カフェレストラン カンファーマー・ツリー
- ・ジャズ喫茶 マジュマロ
- ・八百屋 八百屋ジャズ

●**宮城県仙台市/群馬県**

- ・カフェ Antique cafe OLD TIME
- ・音楽教室 PCK Music Studio 大泉スタジオ

●**川崎市幸区**

- ・川崎幸区矢上 11-1 Tel.044-599-3499
- ・東京都目黒区中央 2-40-8 Tel.03-6412-7318
- ・東京都港区六本木 7-8-4 Tel.03-3408-5406
- ・川崎市小川町 16-15 ヒロサワビル 103号 Tel.044-201-1668
- ・横浜市都筑区川和町 1218-1F Tel.045-929-1005
- ・横浜市中区海岸通 1-1 横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200
- ・横浜市中区山下町 214 巴里堂ビル 2F Tel.090-2202-3294
- ・東京都世田谷区等々力2丁目 16-14 Tel.03-3701-3860

●**中原区**

- ・中原区小杉町 3-245 Tel.044-744-3113
- ・中原区木月紙園町 2-2 Tel.044-435-7000
- ・中原区今井南町 28-41 Tel.044-733-5560
- ・中原区新丸子東 3-1100-12 Tel.044-430-5566
- ・中原区井田中ノ町 25-1 Tel.044-766-9724
- ・中原区木月 1-31-5 Tel.044-455-1800
- ・中原区木月住吉町 11-12 Tel.044-411-9800
- ・中原区木月大町 11-27 Tel.044-722-3617
- ・中原区小杉町 1-403 武蔵小杉タワープレイス Tel.044-712-1791
- ・幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 Tel.044-544-9641

●**武蔵野市**

- ・武蔵野市 1-29-18 Tel.044-422-3626
- ・武蔵野市伊勢町 10-1 三起ビル 302 Tel.044-750-8992
- ・武蔵野市 1-28-16 Tel.044-434-6999
- ・武蔵野市 1-32-10 中嶋ビル 1F Tel.044-872-7375
- ・武蔵野市 1-32-16 1F Tel.044-577-4288
- ・武蔵野市 1-32-22 コトオウチダ 101 Tel.044-766-0184
- ・武蔵野市 1-35-1 Tel.044-433-3338
- ・武蔵野市 3-10-3 Tel.044-411-5516
- ・武蔵野市 3-10-20 永塚ビル 103 Tel.080-3354-3210
- ・武蔵野市 3-13-2 Tel.044-767-1368
- ・武蔵野市 3-17-16 新井ビル B1F Tel.044-411-1003
- ・武蔵野市 3-35-IART FLATS B1F Tel.044-567-5940
- ・武蔵野市 4-31-7 Tel.044-411-5701
- ・武蔵野市井田中ノ町 4-1 メゾンアッシュ Tel.0120-027-217
- ・武蔵野市井田中ノ町 5-3 関根ビル 1F Tel.044-755-0273
- ・武蔵野市井田中ノ町 6-27 Tel.044-766-0850
- ・武蔵野市井田中ノ町 8-1 Tel.044-797-5692
- ・武蔵野市井田中ノ町 33-1 Tel.044-754-1156
- ・武蔵野市井田中ノ町 33-2 Tel.044-766-6022
- ・武蔵野市木月紙園町 12-1 Tel.044-750-0409

●**宮城県**

- ・宮城県多賀城市高崎 2-16-3 Tel.022-309-6728
- ・群馬県邑楽郡大泉町坂田 5-21-6 Tel.070-5597-2230

▲上記、サポーター記載は無料です。 ※2024年5月29日現在



●川崎市中原区
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会
●公益財団法人 川崎市国際交流協会



白井陽太 (しらいようた)

：ピアノ&キーボード奏者、作曲家。

1983年1月26日生まれ。東京出身。音楽好きな両親とプロのアコーディオン奏者の叔父の影響で幼少期から音楽に親しみ3歳からピアノを始める。中学校では吹奏楽部に所属しオーボエを担当。その後は音楽から離れるも29歳から活動を再開。音楽理論を堀越昭宏(xs)に、作曲を熊谷徳明(カシオペア、TRIX)に師事。その後、自作曲「indulge in thought」にて、惜しまれつつ閉店した桜木町の「KAMOME live matters」にて、鶴谷智生(Dr)のリーダーライブに客演を果たすなどライブ・作曲活動を行う。

演奏はクラシックなどジャンル問わず。作曲はオーケストラやフュージョンなどインスト系を手がける。ショート動画用やYouTube等のBGMの楽曲提供も複数あり。実弟はLISA等のサポートミュージシャンを務めるキーボーディスト・作曲家の白井アキト。

2024年10月はお休みです。

音友レコード倶楽部
レコードコンサートのプログラムは Light music & Jazz Date 合同開催

次回11月の「第191回音友レコード倶楽部」は会場都合で未定です。プログラムは「持参レコード/CDを楽しむ集い」です。

発行・編集人：塚田親一
編集：藤田順治/大塚明弘 佐伯奈々重
発行：音楽好きな友の会
川崎市中原区木月2-21-32
TEL 090-9398-2889
2024-9-16-800 Printing IT

音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/

連載06 鳥倉 学があなたに贈るミュージカルの世界へ

ミュージカルからクロスオーバーの道へ

Shimakura Manabu

クロスオーバー歌手 鳥倉 学

(前回からのつづき)

ミュージカル『スカーレット・ピンパーネル』の中で、ぜひお聴き頂きたい楽曲は「ひとかけらの勇気 (A Peace Of Courage)」です。この劇中歌は、宝塚歌劇で初演するにあたって、作曲担当のフランク・ワイルドホーン氏が新しく書き下ろした宝塚版のみの楽曲でした。2016年、宝塚歌劇団以外で日本上演する際に「A Peace Of Courage」として追加されました。

ストーリーは、1794年フランス革命の真っ只中、ロベスピエールを指導者とするジャコバン党の革命政府と公安委員会は、無実の罪の貴族達を反革命の罪で次々に逮捕し、首切りの処刑にしていた。そんな中、無実の貴族達を救い出す謎の軍団「スカーレット・ピンパーネル(紅はこべ)」がバリの街中を騒がせていた。

スカーレット・ピンパーネル軍団の最終目的は、フランス王太子ルイ・シャルルを救出すること。今回のミッションは、ドゥ・トゥルネー伯爵夫人と娘シュザンヌのバリ脱出だった。二人を乗せた荷車を引くのは農夫に扮したアンドリュウ・フォークス、その後について行くのは老人に扮したスカーレット・ピンパーネルことリーダーのパーシー・ブレイクニーだった。そこに、革命政府全権大使のショーヴランがやってくるが、パーシー達は見事脱出に成功した。またもスカーレット・ピンパーネルを取り逃がしてしまつたことに気付いたショーヴランは、怒り心頭に発する。そこで歌われるのがパーシーの「ひとかけらの勇気 (A Peace Of Courage)」です。

この楽曲が今でも多くの方々に愛され続けている理由は、演出家でありこの作品の訳詞も担当されている小池修一郎氏による偉大な歌詞です。

「欺瞞と不正」が蔓延る社会、果たして愛し合える至福の日は来るだろうか。未だ「戦争」が絶えない世界、人が築いた「心の壁」を打ち砕き解き放つ日はいつか。18世紀末のフランス革命混戦期を描いた作品ですが、その訴えかける歌詞の内容は正に現代社会を表しています。そして、ひとりの人間がその逆境に立ち向かう姿勢は、実に共感を呼ぶのです。それを更に後押ししているのは、言うまでもなく作曲家フランク・ワイルドホーン氏の音楽です。

このように、例えどんな困難な状況にあっても「ひとかけらの勇気」さえあれば、人はそれを乗り越えることができる。しかし、何ごとも自分の理想を実現するには、目的に向かって行動しなければ決して現実化しません。そのための

第一歩が勇気です。つまり、覚悟と根性を持って意志の強さを鍛えることが大切であるというメッセージが組み込まれているのです。

ぜひ、皆さまお聴き下さい。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。



国立音楽大学声楽科卒。劇団四季出身。クロスオーバー歌手。近年は、クラシック・コンサートのリストやミュージカルのメインキャストで出演。現在活躍中のプロ歌手をはじめ、有名ミュージカル俳優、シニアなど数多く歌唱指導。現・鳥倉学ミュージックスクール代表講師。元・広瀬音楽学校客員講師。元・劇団スーパー・エキセントリックシアター「アクターズコース」歌唱講師。

音友レコード倶楽部PR動画!

「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

鳥倉 学ミュージックスクール

驚くほど歌い方が上達する「鳥倉 学メソッド」

歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない

TEL 044-567-5940

鳥倉 学ミュージックスクール

プロ志望専門ヴォイス・トレーニング

30分無料体験レッスン実施中!

【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
鳥倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106F)

【お問い合わせ】
鳥倉音楽事務所
代表 鳥倉 学

営業日：火曜～土曜 12:00～21:00
定休日：日曜・月曜

Mail: info@ms-musicschool.com
HP: https://www.ms-musicschool.com/

川崎市国際交流センター

「災害時支援ボランティア養成セミナー」のお知らせ

避難所には、外国人市民もいるかもしれません。このセミナーでは、ボランティアが避難所で何ができるかを考えます。

内容

- 川崎市で想定される災害及び対策、避難所の開設等について
- 多文化防災ワークショップ
- やさしい日本語について
- 避難所でのボランティアの役割について

●日時：11月30日(土) 14:00～16:00

●会場：川崎市国際交流センター

●参加：無料

●定員：30名(先着順)

●対象：災害ボランティアに関心のある方

●申込：HP申込フォーム(10月15日から申込受付開始)

●お問い合わせ
公益財団法人川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
E-mail: kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ https://www.kian.or.jp/

川崎市生涯学習プラザ

第141回 ランチタイム・ロビーコンサート

●曲目
・The second time round
・Godfather love theme
・ジョーク
・Our love is here to stay
・Autumn leaves など

出演：James.K the jazz vocalist
ノボカル、ピアノ、ウッドベース

[James.Kプロフィール]
New York City育ち、フランス系、元商社マン、60カ国に渡る。ジャズ、シャンソン、ハワイアン、カントリー、ロック等そのレパートリーは数百曲。たたきつけるような音出しの唱法とどこまでも伸びる厚みある声は他の追随を許さぬダイナミックさ、迫力だけでなく深みのある声質でロマンティックムードの曲も得意です。2024年3月にCDをリリース。

●日時：2024年10月17日(木曜日) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定

●料金：無料

●場所：川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団 総務室 総務係 ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
ホームページ https://kpal.or.jp/

音楽好きな友の会(音友会)

Autumn In レコードコンサート

このところの暑さ続き、突然の大雨などと天候不順、また会場都合で音友レコード倶楽部も休みが多くなっています。今年の天候変動はともに関心の世代にはきつものがあり、開催時間を午後ではなく午前中の方が良いのではとの声もあり思案中です。

今回はレジュメ風に「10月は秋の始まり」という事で『Autumn』が題名に使用されている秋の夜長に聴くお薦めのジャズバラードの名曲3曲を取りあげてみました。

1曲目は ヴァーノン・デュークがミュージカル『キャビン・イン・ザ・スカイ』の主題歌に作曲した「オタム・イン・ニューヨーク」。メロディが美しいジャズバラードでジャムセッションでもよく演奏される。有名アルバムはO・ピーターソンの「The Oscar Peterson Trio At Newport」でH・エリス(G)、R・ブラウン(B)、J・ジョーンズ(D)が加わりS・スティット(As)がバリバリのアドリブを吹いている。他には「Stan Meets Chet」でC・ペイカー(Tp)がメロディをキャッチーに吹いている物も有り。

次は ジョセフ・マイローが作曲した「オタム・ノクターン」。映画『マザー・ウェア・タイムズ』で使われた曲で現代屈指のジャズ・ギタリスト、P・パースタイン(G)の「Stranger In Paradi se」、メロウなギター演奏でB・メルドンのピアノ・トリオがバクを奏しています。また、ブルノートの名手の一人であるL・ドナルドソン(As)の「Blues Walk」もスティットとは対照的にじっくりと聴かせるプレイで納得。

最後はやはり秋といえば外せないジョゼフ・コズマ作曲の定番曲「オタム・リーブス(枯葉)」。有名なのは「Somethin' Else」C・アグレイ(As)のブルーノート盤。特にここにおける共演者マイルスのミュート・トランペットは涙もの。後は「Portrait In Jazz」におけるB・エヴァンス(P)の演奏。相方のS・ラファロ(b)のベースの音色が美しい。

こんなところを開催会場で皆さんとお喋りしながらレコードで聴きたいのですが、今回は残念ながらYouTubeなどでお楽しみ下さい。次回は皆さんと会場でお会いしたいですね。

11月未定のお知らせ!!

第191回音友レコード倶楽部は会場都合で未定です。次回12月の第192回音友レコード倶楽部は未定です。詳しくは「音友会」のホームページからお問い合わせください。

https://ontomo.jp

連載02

オカリナに誘われて 音楽との出会い

皆様こんにちは2回目のコラムは私の音楽との出会いのお話です。私は幼稚園からピアノを習い始めました。講師の仕事柄こんな事を言っているんですけど、練習が嫌いな子で、よく仮病を使ってレッスンをさぼりました。練習は嫌いなんですが、ピアノを弾くのは好きで、当時兄が好きだったオブコースの弾き語りや、母が好きだったポール・モーリア曲集等、夢中になって弾いていました。レッスンで演奏する知らない曲にあまり魅力を感じなかったようです。中学生になり、もっと夢中になる出会いをしました。入学式の入場の時や校歌斉唱の時に演奏している吹奏楽です。私はフルートがやりたいと思いました。しかし、部活の見学に行くと、私と同じフルート希望者は廊下にはみ出るくらいいて大人気、出遅れました。そこにクラリネットの先輩が勧誘に来て、クラリネットの体験に行き現在に至ります。どはまりました。クラリネット大好きっ子の出来上がりです。高校の吹奏楽部には、クラリネットの傳田文夫先生が、指導に来られていて、私は先生の弟子になりました。

レッスンに行くと小学生から社会人まで、クラリネット好きの人達と出会うことができ、先輩たちのクラリネット・アンサンブルにも混ぜていただき、東横線の大倉山駅近くの大倉山記念館のイベントや、八ヶ岳の山小屋での演奏等、色んなところにクラリネット・アンサンブルで参加しました。そんな私は、傳田先生が講師をしていた洗足学園の短期大学に入学しました。短大だったので、あっという間に楽しい二年間は過ぎてしまい、一般の企業に入社しました。あれっ…なかなかオカリナの話が出てきませんね。社会人になり一般の吹奏楽団を渡り歩き、今だ吹奏楽人生は終わっていません。その中の一つの吹奏楽団がとっても変わっていて、年に一度の定期演奏会に色々なゲストと共演してお客様を喜ばせていました。オペラ、バレエ、和太鼓、手品、オカリナ等々。ここで、オカリナに出会いました。最初にあこがれたフルートを、短くしてちょっとふくらませた感じのオカリナ 可愛くてとっても優しい音色で大好きになりました♪



「思い通りに演奏できる!オカリナ上達のポイント50」監修出版。神奈川・東京を中心に演奏活動しています。第二・四回には、武蔵中原駅近くのコーヒースポットアップにて、オカリナ体験できるレッスンや オカリナのお悩み相談を受けるレッスンを開催中♪ 10/6日には武蔵浦ノ口のてのかわさき(てくのホール)にて、オカリナ発表会を開催♪入場無料♪どなたでも観覧出来ます。

Instagramも是非のぞいてください https://www.instagram.com/emikokotanagi/



Instagram @emikokotanagi

特別寄稿 Conversations

音友レコード倶楽部・音楽談議

※8月休会

唄う銀幕の男優たち

雑誌「ジャズ批評」7月号で「銀幕の歌姫たち」という特集があった。映画やTVドラマなどで活躍したアメリカ・ヨーロッパ・日本他総勢65人の歌うヒロインが代表作アルバムとともに紹介されており、興味深く拝読させていただいた。この特集はタイトルとおり唄う女優にスポットを当てた企画だったが、では「唄う男優」で考えたどのくらいのアルバムがあるのだろうか。筆者の知る限り、その枚数は極めて少ないと思われる。本稿ではそんな数少ない男優のヴォーカルアルバムを3枚、紹介させていただきたい。1950～'60年代に一世を風靡した喜劇役者、ジェリー・ルイスの「Just Sings」(写真①、1956)。戦後、ティーン・マーティンとの「底抜けコピン」で映画にも進出し、'56年、コンビ解消後も制作・主演・脚本・監督を兼務しコメディ映画を作り続けた。ルイスは音楽にも造詣が深く、自身の映画にハリ・ジェームス楽団、レス・ブラウン楽団を出演させたりとジャズ好きでもある。映画の中でも自身が唄う作品がいくつかあるが、ルイスは自身のヴォーカル・アルバムを3枚リリースしている。本アルバムは最初の1枚で「カム・レイン・カム・シャイン」、「ゲット・ハッピー」などのスタンダードナンバー全12曲を唄っている。アレンジと指揮はアナ・オティヤエラ・

フィッツジェラルドのバックも務めた名手バディ・ブレグマン。映画と違いおちゃらけたところは全くなく、大真面目に取り組んでいる。なので、知らずに聴くとジェリー・ルイスとは分からない。ジェリー・ルイスがお好きな方にはいいかもしれない。眠たそうな瞳にがっかりとした体格のタブガイ、ロバート・ミッチャム。筆者は西部劇や「史上最大の作戦」や晩年の「ミッドウェイ」といった戦記物に多く出演しているイメージがある。少なくとも出演映画を見る限り、音楽と関わった作品はない。そんなミッチャムはヴォーカルアルバムを1枚だけリリースしている。「Calyppo is like so...」(写真②、1957)というカリブソのアルバム。カリブソは当時ブームとなっており、ハリウッド・フォンの「バナナ・ボート」が良く知られているが、本アルバムは'57年公開映画「Heaven Knows, Mr. Allison」(邦題「白い砂」)の撮影のためにトリニダード・トバゴを訪れた経緯で制作された一枚といわれている。正直なところ、個人的にはミッチャムとカリブソが結びつかず若干ピンとこないのだが、スティール・ドラム、マリバなどカリブソならではの涼しげな音色のリゾート・サウンドが楽しめる。3枚目は名優ジャック・レモン。



▲①Just Sings / Jerry Lewis



▲②Calyppo is like so... / Robert Mitchum



▲③Sings and Plays Music from 'Some Like It Hot' / Jack Lemmon

特別寄稿 Conversations

音楽談議

日本フィルハーモニー交響楽団とボランティアの仕事

Egawa Kumi

音楽活動好きな料理研究家:江川 公美

私の音楽との出会いはクラシックとJAZZ好きの父親が毎日流すONKYO(株)のステレオ装置から流れる名曲の数々を、とにかく音が良いので毎日シビレながら聴いていた。途中からヤマハ音楽教室に通い、途中からピアノ個人に移り、のんびりマイペースに18歳まで楽しんでいました。大人になり、ちょっと長いトンネルに入った時(笑)、救いを求めてたどり着いたのがテレビ朝日で放送の「題名のない音楽会」でした。当時ドイツでオーボエの首席奏者として活躍していた宮本文昭氏が帰国し奏者から指揮者に転向する時でそのキャラクターと指揮をする後ろ姿にエネルギーを感じ気付けば彼が音楽監督をするオケの定期演奏会に足繁く通っていました。踊るように指揮をする宮本氏の後ろ姿はエネルギーにあふれ、乾いていた魂はみるみるエネルギーチャージされていきました。指揮者で奏する楽曲もこんなに音が違う!と認識したのもこの時でした。そんな経緯から音楽のパワーと素晴らしさを伝えたくてヤマハの音楽教室でスクールアドバイザーに就いていました。そんな時、実家の九州の母の様子を見るのに2年ほど戻った時、両親がいつも行っている日フィルの定期演奏会に足を運びました。演奏が素晴らしいのはもちろん音楽のボランティアの仕事がしたくてウズウズしていた私はパン

フレットの下に載っていたボランティアスタッフ募集の記事に嬉しさを覚えずにはいらませんでした。日フィルの九州公演は1975年に6公演の規模でスタートし、2020年に45周年。約半世紀を途切れることなく継続され日本の文化財として誇れる九州公演。その最大の特徴は1975年以来全ての地域において市民の自主的な参加による楽団が閉団の危機にさらされた時も支えたのは実行委員でした。これは映画にもなったくらいです。世界にも類を見ない市民とオーケストラによる音楽文化を作る共同プロジェクト。日フィルと実行委員会で指揮者から楽曲、ゲストまで決めていく作業は忙しくも楽しくてたまりません。私がスタッフになった直後、コロナになり延期されていた定期演奏会が2020年にやっと帰って来ました。2022年2月18日(金)『第47回 九州公演 日本フィル in Kyusyu 2022 熊本公演』熊本県立劇場コンサートホール。ゲネプロを終え、本番、1曲、1曲、楽団の音がパワーUPしていくと来客のエネルギーが交ざり合い劇場の中は素晴らしい波動で満ち溢れてい



▲演奏風景

パンフレット▶

連載19

脱線ニューヨーク滞在記

前号からのつづき

番外編 メキシコシティーII

Demura Katsuo

メトロポリタン大聖堂のパイプオルガンを聞きに…。プラザのツーリストインフォメーションに尋ねると朝夕のミサの時に聴けるが、毎日ではなく、さらに夕方のミサは時間が分からないとの事。後日一か八か朝行きました。聴けました。黒いキリストを正面に大聖堂が醸し出す空気の中、聖歌とパイプオルガンのコール&レスポンス荘厳でした。残念だったのは、途中で床磨きポリッシャーの雑音が聖なる時を壊しました。何故その時間に作業する、させるか不思議です、これもメキシコなのかと。メトロポリタン大聖堂は統治国スペインによってアステカ帝国の首都テノチティランにそれまで建てていた神殿などを破壊し跡地に建設された建物の一つです。1563年から完成に250年余りをかけてゴシック、ルネッサンス、バロック、新古典主義などの様式が混在して完成しました。パイプオルガンはドイツ製と謳っていましたが、パッハのオルガン曲「トッカータとフーガニ短調」もこの時期作曲されました。(この大聖堂着工当時、世界はスペイン、ポルトガルを中心に大航海時代、その流れで今のメキシコはスペインの植民地に、そして大聖堂が、日本もその頃大きな変革の時代でした。室町時代から下剋上、戦国時代、安土桃山時代へと。相まって文化も権威に反発し、自由で独創を求めた室町時代の娯楽(バサラ)から始まり虚け者(うつけ)、傾奇者(かぶきもの)などが現れその時代を投影し、現代に置き換えるとヌーベルバーグやピートニコソしてヒッピー文化などのサブカルチャー、一休さん(一休宗純)の風狂はデカダンス、千利休の宗教とは離れた禅の価値観、風情を伴った茶の湯、JAZZとピートニコの繋がり、舞臺等も時代に呼応しました。東山文化はこれらのサブカルの影響を受け融合しメインカルチャーになりその概念は現代にも大きく引き繋がれています。生々しい前衛(アバンギャルド)の観念が浮き出されました)バンクシーもびっくり!

僕とメキシコとの縁は、銀座に在った今は無き「69」(ろく)と云うジャズ喫茶です。高校生の時何回か行きました。店に入って左側壁面いっぱいシケイロスの絵がありました。もちろん当時の僕には作者が誰とか芸術性などの知識はなかったのですが、男の二腕が画面いっぱい大きく突き出されている図は脳裏に焼き付きました。MJQ、アート・ブレイキー、マイルス…をBGMにピートニコ感をコピーの苦さと共に喫きました。そして大分後シケイロスの名前そして彼がメキシコ人画家と知りました。

メキシコの近代～現代美術は世界的に大きな影響を与えています。1920年頃から革命時の反体制的思想や先住民文化などがテーマになり壁面運動が発展しました。A.D.シケイロスはその時代の中心的作家のひとりでした。ピカソのゲルニカもこの頃(1937)共通するテーマをもって描かれています。アメリカの革新的美術家ジャクソン・ポロックも影響されシケイロスの壁面制作の助手を務めました。岡本太郎さんも影響を受けメキシコと日本で壁面制作をしています。渋谷駅に大きな壁面があります。

で、銀座の「69」にあった壁面がメキシコ国立自治大学で見れる事でしたが残念ながら今回は行けませんでした。

シケイロスは巨匠ディエゴ・リベラ等と壁面運動を行いました。共に社会主義者で、スターリン主義も唱えていた時もありましたが、トロツキーがスターリンに追放されメキシコへ亡命した時は思想よりも人として援助したと思います。しかしトロツキーは3年後の1940年8月21日暗殺されました。

トロツキー博物館があるコアカン地区に行きましたが休館日でした。ので近くにある青い家(カサ・アズール)へ。フリーダ・カーロの棲んでいた家で前述したディエゴ・リベラと結婚し住んでいた時もあり今はフリーダ・カーロ博

- バーカッション奏者
コンセプトアルアーティスト
現代アートでは空気、無を梱包して送る
エアメールアートを展開している。

物館に、かなり興味があったのですが長い列でやめました。残念。フリーダ・カーロの事は彼女の伝記映画「フリーダ」しか知りませんでした。映画も観ていません。ところがメキシコへ来ると彼女は国民的ヒロインで看板、ポスター、お土産物のデザインまで至る所で彼女を拝めます。調べるとディエゴ・リベラとの関係を帯封に「メキシコを代表する2大画家の愛と苦悩」とある本もありました。二人とも共産主義者でトロツキーとの三角関係もあつたりで情熱の花でしたね。その後マリアッチを演っている店に入りマルガリータを頼み2ステージ見終えて出ました。

次号へ ポヘーバ



▲①メトロポリタン大聖堂のパイプオルガン



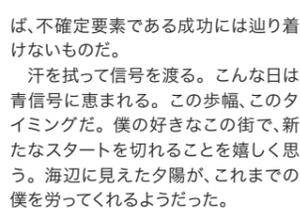
▲②A.D.シケイロスの壁面メキシコ国立自治大学



▲③フリーダ・カーロ自画像



▲④フリーダ・カーロとレフ・トロツキー



▲⑤マリアッチ奏者

連載95

「くら座」日記 拓く道

Makino Kento

シンガーソングライター 牧野 憲人

とある商談を済ませた僕の目に飛び込んできたのは、懐かしく光景だった。期待と不安が入り混じる僕を落ち着かせてくれた。山下公園を横目に、かつてこのあたりでライブをした日のことを静かに思い出していた。時の経過は悪いことばかりではない。あの時があったから今の自分が、この先の自分もあるのだろう。信じていたものどこか不安だった。「果たして僕の未来はどのような運命なのだろうか」と、なかなか思ったような自分にならず、不甲斐ない自分に燃つた日々。ようやく開けた次のステージへのドアがこの街にあったことに、僕は運命的なものを感じる。僕は神奈川という街が好きだ。

成功と失敗は表裏一体だ。2つに決定的な大きな違いはなく、常に紙一重のところだから道を作る。ほんの一手を間違えただけで失敗に転じることもあれば、最後の最後に起死回生の逆転成功を見せることもある。実力だけではない。特に、タイミングや運といった曖昧な要素を抱えるこの世界においては、目に見えない「何か」を自分に宿す必要がある。そのためには、常に前向きな心を持ち、広い範囲でアンテナを張り巡らし、いつどこで自分を求められても全力を尽くせる準備が大切だ。「失敗は成功の元」と言うが、失敗はあくまで失敗であることを認識し、成功するための道標を見ようとしなければ、不確定要素である成功には辿り着けないものだ。汗を拭いて信号を渡る。こんな日は青信号に恵まれる。この歩幅、このタイミングだ。僕の好きなこの街で、新たなスタートを切れることを嬉しく思う。海辺に見えた夕陽が、これまでの僕を労ってくれるようだった。



Advertisement for Souleave Music School and Motton Club. Includes guitar chord diagrams for E major and D minor, and contact information for the school and club.